

入曽地区中学校統廃合検討協議会第4回会議録

- ・開催日時 平成23年8月24日（水） 午後6時30分～8時30分
- ・開催場所 入曽公民館3階第二学習室
- ・出席者 19名（欠席者1名）
- ・事務局 生涯学習部長 次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長
学校統廃合担当主任
学校教育部参事兼教育指導課長 学務課長
- ・傍聴者 2名

【会議内容】

1 開 会

2 会長あいさつ

今日は、私が日頃考えていることを申し上げて、挨拶に代えさせていただきます。と思っています。

———— 配付資料説明（略） ————

※資料「私たちの目指す学校教育について」
「狭山市教育振興基本計画（概要版）」

3 議 事

（1）統廃合の具体的な検討について

（事務局） ———— 配付資料説明（略） ————

※資料「平成23年度中学校部活動一覧」

（委員） これらの部活動は全て顧問の先生がついているのですか。生徒だけでやっているのもあるのですか。

（事務局） 全てついていきます。

（委員） 先生が変わったら、後任の方がつくということですね。

(事務局) それは分かりません。

(委員) そうなると廃部もあり得るということですね。

(事務局) そうですね。

(委員) 顧問の先生がいないと部としては成り立たないのですか。

(事務局) 全ての学校で、そのようにしています。

(委員) 学校としては、教員の数が減るなか、部活の顧問の確保については課題であり、新しく入ってくる生徒がいない部を廃止にしたりなどといった形で今まで対応してきました。個人的には、野球部はあるけどサッカー部はないのは寂しいなと思うところがあります。

(委員) 生徒から、サッカー部をつくってくださいとか、ソフトボール部をつくってくださいとかいった要望はあるのですか。

(委員) 今は、学校の部活だけではなく、地域のスポーツクラブなどに入って活動している子どももおります。なるべく部活に入るように指導はしておりますが、野球部があっても地域の硬式のリトルシニアに入っている例もあります。子どもの要望も多様化しており、今は学校で全てを負うというわけではありませんので、何とも言えないところがあります。

(議長) 教員の数が減ると部活を維持するのが大変だということを、皆様にはご承知おきいただければと思います。

(事務局) ——— 配付資料説明 (略) ———

※資料「入曽地区の中学校の統廃合シミュレーション」

(委員) こうやって3校並べて見てみると、人間中はあまりにも古い学校だなというのが印象です。たまたま私の会社でも、この年代に造った建屋があるのですが、耐震基準を満たしていないので出入り禁止になっており、今は倉庫として使われています。果たして、こういう古い学校に子どもを預けておいて大丈夫なのかというのが率直な感想です。

そして、これを安全な学校にするには、相当な費用がかかると思います。

(議 長) 入間中を耐震工事する場合は、どういうふうにするのですか。

(事務局) 耐震補強工事は、外付けブレースもしくは窓の内側に施工するK型ブレースの二通りの方法があります。工法に関しては、Is 値などの状況によって決めることとなりますが、東校舎のIs 値が0.47、西校舎のIs 値が0.39の入間中の場合は、外付けブレースになるかと思えます。昭和37年に建てられた西中学校を例に見ますと、校舎の南側のほとんどの面に外付けブレースを入れています。

(議 長) 私は3校とも経験しましたが、入間中は、天井は低く廊下も狭く、トイレなども古いですし、他の2校に比べ、あまり良い教育環境とは言えないと思います。

(委 員) Is 値の基準はいくつですか。

(事務局) 一般の公共施設は0.6ですが、学校施設の場合は、より強度を増した0.7にするよう文部科学省から指示が出されています。

(委 員) いつまでに工事をするよう指示されているのですか。

(事務局) 平成27年度までです。

(委 員) 耐震補強工事をすれば、どのくらいの地震に耐えられるのですか。

(事務局) 震度6強に耐えられるレベルが新耐震基準ですので、その程度の地震には耐えられるということになります。

(委 員) 狭山市教育振興基本計画には、基本方針に基づいて小中学校の統廃合を推進すると明記されています。この検討協議会に関しては、統廃合することはもう決まっていて、後はどういう形で統廃合を進めていくのかを決める会議だと私は思っていました。ですから、統廃合することの是非も含めて検討と聞いたときには、正直、えっ？という感じでした。統廃合しないという結論もあり得ると言いながら、計画には

統廃合を推進すると書いてある…。どっちなのでしょうかね…？教育の専門の方々が吟味して決められた方針や計画があるなかで、ここで私たちに統廃合の是非を問われても、答えようがないというのが正直なところです。

個人的には、統廃合するなら入間中か入間野中かと思っていました。入間野中に関しては、もともと入間野中ができる前は入間中と山王中でやっていたわけですから、3校を2校に戻すのであれば、最後にできた入間野中をなくすことになるのかなと…。

(議長) 市で統廃合するという基本方針が決まっているわけですから、私自身もそういったスタンスで臨んだつもりです。

(委員) もう統廃合するかしないかの決を採ってもいいのではないですか。皆さんは PTA など各団体の代表で出てきているわけですから、それなりの責任をもってそれぞれの考えを出していいと思います。

(委員) 私も統廃合することは決まっているものと思って会議に臨んだ一人です。私の判断の拠り所としては、実際に統合した子どもたちがどういう感情を持ったのかが気になっていたのですが、前向きに捉えている子どもたちが多いという話を前回聞きましたので、それを拠り所に私は判断したいと思っています。

(議長) それでは、統廃合を進めることについて、賛成か反対か挙手していただくということによろしいですか。

(委員) 統廃合しないという意見が多ければ、今日でこの会議は終わりということですか。

(議長) いいえ、反対の意見が多かったということで、この会議が終わりになるということではないです。

(委員) それでは意味がないですよ。まずは統廃合するかしないかを決めるということでしたから、反対の意見が多ければ統廃合はしないということですよ。

(事務局) 基本方針には、「統廃合の必要性について検討し」とありますが、統

廃合の必要性そのものは、市としてはあると考えています。統廃合するかしないかということではなく、この市の考え方について皆さんのご理解をいただきながら、統廃合を進めていきたいと思っております。

(委員) 協議会の設置要綱には、委員の任期は「統廃合計画が策定されるまでの間とする」と明確に書いてあるわけですから、それを前提にこのメンバーは集まっているはずですよ。

(委員) でも、統廃合するかしないかを、まずは決めるということでしたよね。それが違うということであれば、また考え直さなければいけないですが…。違うのであれば、統廃合するかしないかなんていう議論は、最初からやる必要なかったわけで…。

(委員) 私も統廃合しないという結論もあっていいと理解していましたから、もし反対になった場合、教育委員会はそれで引っ込みがつかないのかといった疑問は最初から持っていました。統廃合を進めることについてご理解くださいということであれば、それは解かるから、会議に臨む姿勢も違っていたのですが…。正直、私たちに統廃合するかしないかを決めてくれと言われても、荷が重いですよ。

(議長) 私としては、基本方針にも教育振興基本計画にも明記されており、基本的には統廃合を進めていくと、そのことを前提に、より良い教育環境をつくるために、どのような形で統廃合を進めていけばよいかを議論する場だと認識しておりました。

(委員) 統廃合することが前提だったのであれば、それはまた違う方向で考えていたわけで…。別にガンガン意見を言う必要もなかったですし…。

(議長) 委員の皆さんのなかで誤解があるようですので、教育委員会としての姿勢を改めて事務局から言っていたらよろしいですか。

(事務局) 基本方針に書いてあります「統廃合の必要性について検討し」というのが、是非を検討することなのか、中味を検討することなのかまで書いていないので、受け取り方が各々違ってしまったということはあると思います。

(委員) 統廃合ありきですかという質問に対して、それを含めて検討しますということでしたから、私たちは是非を検討するという意味で受け取ったわけです。だから、統廃合するという基本方針を市が出しているのに、その是非と言われたので、みんな戸惑っているというのが現状だと思いますよ。

(委員) 私も前回反対意見を言いましたが、もう決まっているのだから反対してもだめですよと言ってもらえれば、それでよかったですかと思うのですが…。統廃合することが決まっているのであれば、決まっているとはっきり言ってもらえればいいと思います。

(事務局) 統廃合を進めていきたいという教育委員会の意思は変わりません。ただ、合意をいただきながら進めていきたいということも変わりません。何がなんでも無理やりというつもりはありません。

(委員) 入曽地区は拒否、入間川地区は受け入れるという形でもいいということですか。大反対する理由があれば、拒否してもいいということですか。

(事務局) 教育委員会としては両地区とも進めていきたいと考えています。教育委員会としては、皆様が持っているいろいろな意見を無視して一方的に進めるつもりはありませんということです。

(委員) 言っている意味が分からないですね。それじゃ、反対意見が出たらやらないということじゃないですか。

(委員) 入曽地区に3校ある中学校を2校にする基本方針は、変わってないわけですよね。

(事務局) はい、今でも変わっていません。小規模校の課題がある以上、その解決に向けて、学校や地域の方々と検討を行わないというのは、やはり怠慢だと思っております。そういうなかで、今の基本方針に沿った形で、より良い方法を検討していただくというのが、一番わかりやすいのかなと考えております。

(議長) 皆さん、首を傾げている人が多いようですので、事務局から教育委

員会としての意思をもっと明確に示していただいてよろしいですか。

(委員) いや、もう統廃合するという市としての意思は明確に出ていますよ。要は統廃合ありきで議論を進めていけば、あとは簡単な話ですよ。それを統廃合ありきじゃないなんて言うから、話がぐちゃぐちゃになっているわけで…。

(委員) 今日は決を採ると思っていたのですが、市のスタンスがそういうことであれば、また私自身も考え方を変えなければいけないのかなと今は思っています。

(事務局) いずれにしろ、二者択一の決を採るのは相応しくないと考えています。それは、それぞれの委員の立場上、明確に意思表示しづらい方もいらっしゃると思うからです。今までいろいろな資料を出してまいりましたが、それでも統廃合をすることはマイナスだから納得できないという方がいれば、また新たな資料を提示したうえで理解をいただくと、そういった形で進めていくしかないのかなとは考えております。

(委員) 簡単に言えば、市の考えを理解してほしいということですか。

(事務局) 教育委員会として統廃合を進めるにあたっては、皆様の意見を聴きながら、皆様からの理解をいただきながら進めていきたいと考えております。

(委員) 今までの資料で出てきた生徒数の減少や財政的な問題などをみれば、当然統廃合しなければならないと私なんかは思うのですが…。

(委員) 私は今までの資料を見ても、統廃合しなければならない理由なんてないと思っています。覆るというから今までいろいろ考えて反対意見を言ってきたのであって、覆らないのだったら言わなかったですよ。覆らないのなら覆らないとはっきり言うべきですよ。そのあたりの事務局の言い方が曖昧だから、よく分からないわけですよ。

(議長) 統廃合することは大前提にあって、より良い教育環境をつくるために、どういった形で統廃合を行えばいいのかを議論するつもりで参加した委員さんが元々多いようですので、そのあたりを皆さんに誤解の

ないように事務局から言っていたく必要があろうかと思います。

(事務局) 基本方針は教育委員会として決定しているものですから、入曽地区の3校を2校にするという方針は覆らない、変えていないということです。

(委員) シミュレーションの資料を見る限り、入間中に決定していますよというふうにしか見られないですよ。入間中は狭いですよ、古いですよ、耐震補強工事も冷暖房工事もしていませんよ、これからやるにしてもお金がかかりますよ、だから、入間中を潰しますよって、はっきり言っていた方がいいと思います。

(議長) 入間中にハンディがあるのは明らかですし、それは教育委員会でも認識していると思います。教育委員会としてのプランニングはあると思いますので、そういったものを遠慮なく出していただいていた方がいいかとは思っています。

(委員) あくまでも3校を2校に減らすというだけの話でしょ。どこを廃校にするかは皆さんで決めるということでしょ。

(事務局) 事務局として、どこを廃校にすればいいという案を出してくれと言われれば、それはお示しをします。ただ、決めていただくのは、皆さんの意見のなかで決めていただきたいと考えております。

(委員) でも、その言い方って…。

(委員) 無責任だよ。ね。

(事務局) あくまでも廃止する学校の選定は皆さんの意見を聴きながら決めることになっておりますので…。ただ、事務局として案を出してくれと言われれば、それはお示しをします。お示しをすることはできますが、基本方針において皆さんの意見を聴きながら検討していくということになっておりますので、こちらからアレですコレですと言うよりは、皆様で話し合っただけで決めていただいた方がよろしいのかなと思っているということです。

- (委員) 確かに統廃合はしなければいけないというのは伝わってきました。ただ、こういうふうにしていきたいという案を、事務局から覚悟を決めて示していただいて、それを基に私たちが検討していくという方がよろしいかとは思いますが…。
- (議長) 私もそう思います。
- (委員) 皆さんからの反対もありということで、そういった一本、柱をいただきたいかなとは思っております。
- (議長) やはり、事務局には専門家がいらっしゃるわけですから、ステップごとのプランニングを出していただいて、それを基に市民としての意見を出していくという形で進めていきたいと思います。
- (委員) 事務局から、この学校を廃校にして、ここの学校とここの学校に統合したいといったことを具体的に提案していただいて、それに対して我々が意見するという形でいいと思います。データを見る限り、もう考えていることは皆一緒だと思いますので、はっきり出していただいていいのかなと思います。
- (委員) でも、いまだによく解からないのは、一般論としての小規模校の課題は理解できたのですが、入曽の3校が抱える現実的な問題点は、あまり出てきてこなかったかなと…。そういうふうに考えると、いまだにどうなのかなとは思いますが…。
- (委員) 3校を2校にすることについて賛成なのか否かの挙手による確認は一回とってもいいのかなとは思いますが…。議論はそれからでも可能だと思います。
- (議長) 自分は、より良い統廃合を進めるために会議に参加したつもりだったと、ここで統廃合の是非を論じるなんて夢にも思わなかったという方は挙手していただけますか。
- (委員) それは、ちょっとおかしいのではないですか。そういうのは決議を採る内容の問題ではないと思います。そういうのは個人の心の問題だから…。

(委員) 決を採るとすれば、例えば入間中を廃校にして、こういうふうに分かれて統廃合したいですということを提案していただいて、それにまず賛成か反対かみたいな形でないと、いま決を採っても曖昧な感じで終わってしまうと思います。先生方を見ていますと、生徒の数が多かろうが少なかろうが関係なく、学校にはいろいろな問題があるし、100%ということはないと思っています。そういう中で現状を変えるのは教育の現場としては大変なことだと思いますので、地域でバックアップして、より良い統廃合に向けて進んでいきたいと思いますというコンセンサスを形成していくのが、この会議の趣旨ではないのかなと思います。

(委員) 入間中がなくなるということについては、まどろっこしい言い方をされる方が傷つくので、むしろ、はっきりズバツと単刀直入に言っていただいた方がいいです。

(事務局) 教育委員会としては、最初からこの学校をと言うよりも、やはり皆様の協議のなかで決めていただいた方がいいのかなと思っております。

(委員) それじゃ、入間中の耐震工事をして、他の学校を廃校にするという逆転もあり得るということですか。

(事務局) それが皆様の総意であれば、あり得るものと思っております。

(議長) ただ、やはり教育委員会としてのプランは出していきたいと思えます。

(事務局) 事務局としての考えを出してくださいということであれば、それはお示しをします。

(委員) 今後、入間中を建て替えてくれという意見が出るかもしれませんが、第一種低層住居専用地域で、それは可能なのでしょうか。

(事務局) 可能です。ただ、基本方針では既存施設を活用して統廃合を進めることになっておりますので、それを前提に協議を進めていただきたいと思っています。入間川地区の協議会でも同じような意見が出ました

が、あくまでも基本方針に沿って検討協議を進めていただきたいということで、入間川地区の方でも話をさせていただいております。

(議長) この会議では統廃合の是非を論議するのではなく、基本方針に則って議論を進めていくということで、皆さんよろしいですね。

それでは今後は、事務局は主体性をもって進めていってもらえればと思います。それと、皆さんにご理解いただきたいのは、生徒数だけではなく、教育経営の観点からも、入間中の教育環境というのは、他校に比べて明らかに違いがあります。ですから、どこを廃校にするかということは、教育委員会として当然考えて然るべきです。そういうことも明確に出していただけてよろしいかと思います。それと、皆様にはそれぞれの学校を実際に見ていただきたいなと思っております。その方がいろいろと意見も出しやすいと思います。

(委員) 入間中は、確かに施設は狭いですし、古いです。でも、みんな一生懸命やっています。廃校が決まった場合、それらを子どもたちに説明する際には、それに耐えうる内容であってほしいと思うわけです。それと、シミュレーションを見ると、生徒がかなり遠くから通うことになろうかと思えます。入間中では、歩いて40分くらいかかる所から通ってきている生徒もあり、自転車通学を許可してほしいという申し出は毎年のようにあります。でも、安全面を考慮し、あそこを自転車で通らせるわけにはいかないということで全て断っております。そういった生徒の安全面なども考えて、やっていただければと思っております。一件でも交通事故が起きればアウトですから、その一件を起こさないように、我々は安全指導なりを行っているわけです。自転車通学をするようになった場合の安全面の確保なども含め、広い視野で考えていただければと思います。よろしくお願いします。

(委員) 学校がなくなることで、その生徒が今までのように地元の地域の活動に参加できなくなるといったこともあろうかと思えます。授業以外のそういった活動に参加することは大事なことでありますし、数字的なものだけではなく、そういったところも慎重にやっていただければと思います。

(委員) 9月から茶の花号は東急台のところに通学バスの停留所が増えますよね。そのような形で、例えば三商の奥の方から来る子どもたちだけを

茶の花号で拾って通学させるとか、そのようなことも併せて検討いただければと思います。

(事務局) 統廃合につきましては、決まった場合、すべて学校にお任せということではなく、小学校の時も保護者説明会などを事務局では行っております。さらに、通学路の安全確保につきましても非常に重要視しておりますので、皆様からご意見を伺いながら、より良い統廃合計画を作っていきたいと思っております。

(議長) 次回は、数字だけでなく、入曽地区の中学校が現在おかれている施設設備の状況なども含めたデメリットなども出していただき、皆さんどこにしますかということではなく、事務局ではこういうふうにしたということを出していただき、議論を進めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

(2) その他

(次回会議の日程)

日時 平成23年10月5日(水) 午後6時30分～
場所 入曽公民館3階ホール

4 閉 会

【配付資料】

- ◆ 第3回会議録
- ◆ 私たちの目指す学校教育について
- ◆ 狭山市教育振興基本計画(概要版)
- ◆ 平成23年度中学校部活動一覧
- ◆ 入曽地区の中学校の統廃合シミュレーション
【別図】シミュレーション毎の通学区域図